



鳥インフルエンザと 渡り鳥の関わり

鳥インフルエンザを理解するには、インフルエンザウイルスの多様性、ウイルスのグローバルな拡散とそれを運ぶ渡り鳥との関係を理解する必要があります。今回のシンポジウムでは、世界を股にかけて鳥インフルエンザウイルスのサーベイランスを行っている北海道大学の高田礼人教授と、渡り鳥の大規模飛来地である鹿児島県出水市において鳥インフルエンザの調査を行っている鹿児島大学の小澤真准教授をお招きし、鳥インフルエンザウイルスの生態や各大学における取り組み、調査内容についてご講演をして頂きます。

日時

2017年10月20日(金) 14:00-16:30

場所

宮崎大学農学部L109号室
宮崎市学園木花台西1-1

入場無料

事前の申し込み等は不要です。

学内の駐車場(無料)をご利用下さい

定員: 100名



【プログラム】

14:05 - 15:05

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター **高田 礼人** 先生

鳥インフルエンザの基礎とグローバルサーベイランス

15:20 - 16:20

鹿児島大学共同獣医学部附属 越境性動物疾病制御研究センター **小澤 真** 先生

鹿児島県出水ツル渡来地における鳥インフルエンザの流行状況

【お問い合わせ】

宮崎大学テニュアトラック推進機構

助教 目堅 博久

TEL: 0985-58-7881; E-mail: mekata@cc.miyazaki-u.ac.jp

主催/共催:

宮崎大学テニュアトラック推進機構

宮崎大学人獣共通感染症教育・研究プロジェクト

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター